

## 生ごみ処理減量化

秦食品株式会社

事業目的	当社では生ごみを主体とする産業廃棄物を年間 1,300 トン余り排出し廃掃法多量排出事業者に相当するため東近江環境事務所より減量する様指導されている。そこで導入する装置により廃棄物を発酵・分解し減量化する。結果として排出する産業廃棄物を 300 トン余り減量化し廃棄費用も削減する。
事業概要	分解・発酵型ごみ処理機により芋皮・野菜屑等の生ごみを処理し、今まで外部の産業廃棄物処理業者に委託していた処理を減らす。生ごみ処理機は現在芋皮のみ発生場所から配管輸送し分解・発酵後発生する排水と排水残渣を既設の排水処理施設で処理し有機汚泥（発生芋皮の 1%）として処分（有機肥料）する。
事業効果	2021 年 3 月よりごみ処理機を稼働し 25 トン/月（年間 305 トン）の産業廃棄物を減量できる見込みである。金額効果としても 1,220 万円/年の効果、回収年も約 3 年を見込んでいる。
今後の課題と方針	今後は排水処理によって発生する有機汚泥が多いので真空乾燥減量化等の新技術の応用に取組み 1,000 トン以下を早期に達成する。なお 2021 年 12 月より別途分解・発酵型コンポスター 1 台を導入して芋屑等を 25 トン/月減量（堆肥化）している。2023 年度もさらに 1 台増設の計画である。有機汚泥の乾燥減量化は 2023 年度以降に延期となっている。